

平成 30 年 11 月 7 日

厚生労働大臣 根本 匠 殿

予防接種推進専門協議会

委員長 岩田 敏



風しんに関する特定感染症予防指針に基づき、
早期に先天性風疹症候群の発生をなくし、
2020 年度までに風疹排除を達成するための緊急要望書

参加学術団体

(公社) 日本小児科学会、(公社) 日本小児保健協会、(公社) 日本小児科医会、
(公社) 日本産科婦人科学会、(公社) 日本産婦人科医会、(一社) 日本感染症学会、
(一社) 日本呼吸器学会、(一社) 日本渡航医学会、(一社) 日本保育保健協議会、
(一社) 日本耳鼻咽喉科学会、(一社) 日本プライマリ・ケア連合学会、
(一社) 日本環境感染学会、(一社) 日本老年医学会、日本ワクチン学会、
日本ウイルス学会、日本細菌学会、日本臨床ウイルス学会 (順不同)

時下 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、予防接種推進専門協議会が
取り組んでおりますワクチンで予防できるすべての疾患 (Vaccine preventable
Disease, VPD) に対する予防接種推進に向けた活動に格段のご理解・ご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

さて、国立感染症研究所感染症疫学センターが毎週発表している「風疹流行に関する
緊急情報 (別添)」によると、2018 年第 30 週 (7 月 23~29 日) から首都圏を中心に
急増しはじめた風疹は、2018 年第 1~43 週 (1 月 1 日~10 月 28 日) までに 1,692 人と
なり、全数届出が開始された 2008 年以降では 2013 年、2012 年に次いで 3 番目に多い年
となりました (図 1)。現在、全国各地に感染が拡大しつつあります (図 2)。

2014 年 1 月に発出され、2018 年 1 月に改訂された「風しんに関する特定感染症予防指
針」では、わが国の目標を「早期に先天性風疹症候群の発生をなくし、2020 年度までに
風疹排除を達成すること」としています。しかし、このまま患者数の増加が継続すれば、
2020 年度の排除達成が困難となり、更には東京オリンピック・パラリンピック期間中に
風疹の流行あるいは先天性風疹症候群の発症時期が重なることも懸念されることから、
感染拡大を抑制する有効な対策を早期に実施する必要があります。

現在の風疹流行の中心は成人であり、その中でも特に 30 代~50 代前半の男性に多

く、予防接種歴は「無し」と「不明」が約 90%を占めています（図 3, 4）。予防接種法に基づく感染症流行予測調査によると、30 代後半～50 代前半の男性に多数の感受性者が蓄積されており（図 5）、この年代は定期接種として風疹含有ワクチンの接種を受ける機会がなかった、あるいは接種率が低かった年齢に一致します。

そこで、早期に先天性風疹症候群の発生をなくし、風疹排除を達成するために、下記の時間軸に沿った計画の策定を要望いたします。

1. 短期目標（2018～19 年度）：妊婦の感染予防、妊婦の周囲における風疹拡大予防策の徹底
2. 中期目標（2020 年度）：先天性風疹症候群の新規発症ゼロ、風疹排除の達成
3. 長期目標（2022 年度）：風疹排除状態を維持するための感受性者対策の達成

そのために、まず、妊婦の感染予防として、

- ① 妊娠出産年齢の女性が非妊娠中に 2 回のワクチンを完了できるように予防接種施策を整えること。
- ② 風疹が流行している期間に限っては、妊娠が判明した時点でなるべく早期に風疹抗体検査を実施し、妊婦自らが風疹ウイルスへの感染予防に努められるように周知すること。妊婦の抗体価が低いと判明した場合は、妊婦の周りの人に積極的にワクチンを勧奨し、また、妊婦が出産後早期にワクチンを受けられるような環境を整えること。
- ③ 抗体検査のみでは風疹対策に繋がらないため、企業と連携する、産業界の協力を得るなどの方法で、成人の抗体陰性者および低抗体価の者がワクチンを受けやすい環境を整えること。

さらに、国内における風疹排除とそれを維持するための方策として、

- ① 国家施策として、予算、風疹含有ワクチン、予防接種後健康被害救済制度を準備して、成人への予防接種を実施すること。その例として、高齢者の肺炎球菌感染症がある。これに倣って、35, 40, 45, 50, 55 歳になる年度の男性に 5 年間、風疹含有ワクチンの接種を行うなどの予防接種制度を構築すること。使用するワクチンは麻疹対策を併せて行うためと安定供給を考慮して、麻しん風しん混合（MR）ワクチンを原則とする。
- ② 国は、直ちに国内製造販売業者に MR ワクチンの増産を依頼し、必要数のワクチンを国として確保すること。

上記の対策により、早期に先天性風疹症候群の発生をなくし、風疹排除を達成し、二度と風疹の国内流行が起こらないような盤石な体制を構築することを要望いたします。予防接種推進専門協議会といたしましては、国の実施する風疹対策に全面的に協力をしたと考えておりますので、何卒ご高配をよろしくお願いいたします。

(別紙)

図1

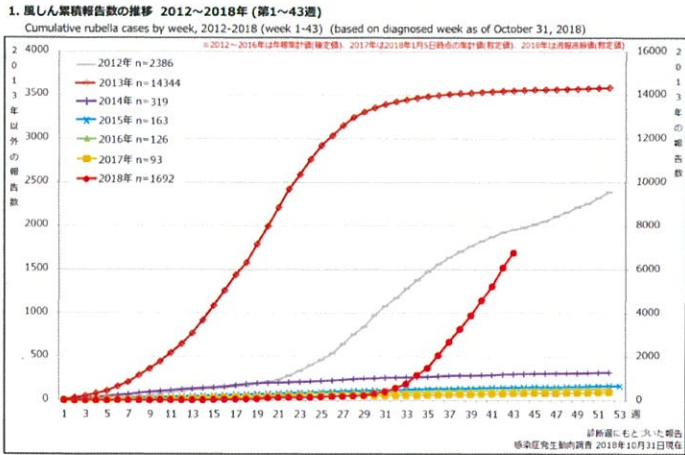


図2

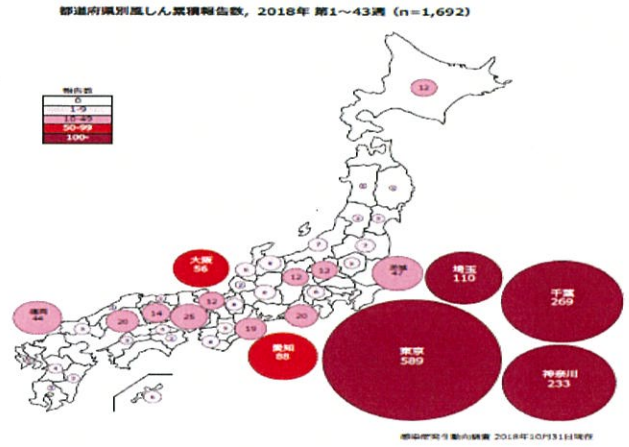
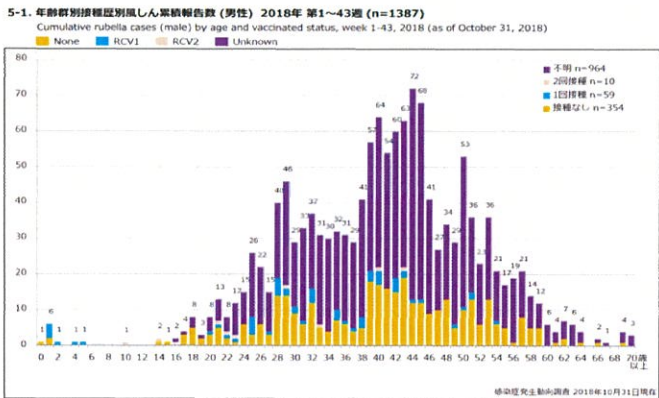
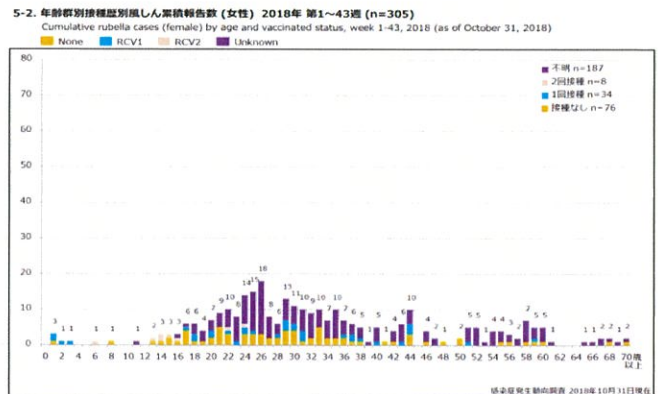


図3



男性

図4



女性

図5

